

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	その他のサービス [ レンタカー ] ( 営業担当 )	来客数の動き	・先月から今月にかけてインターハイが沖縄で開催されたため、大会関係者、選手団、応援団のレンタカー利用があり、貸出件数が前年同期比120%と好調に推移している。
	やや良く なっている	家電量販店 ( 総務担当 )	来客数の動き	・地元高校の全国高校野球大会優勝が消費を刺激しているようである。
		その他専門店 [ 書籍 ] ( 店長 )	来客数の動き	・売上、来客数ともに前年同月と比べると5～8%落ちているが、ここ3か月以内で比べると客単価、客数共に上昇傾向にある。
		観光型ホテル ( マーケティング担当 )	販売量の動き	・稼働率が前年を徐々に上回っている。考えられる要因としては、当ホテルはインターハイ関係の客を受け入れていないものの、沖縄県自体の入域観光客数が好調なことや、台風の発生が無く順調な入込状況を保っていることが挙げられる。
		旅行代理店 ( 代表取締役 )	販売量の動き	・夏場のスポーツイベントや秋の旅行需要も多く、当社も競合他社も景気は良くなっている。
		通信会社 ( 店長 )	販売量の動き	・通常の音声端末に関しては飽和状態であり、新規の開拓は難しくなっているが、スマートフォン需要の増加が販売数にも現れてきている。
	変わらない	百貨店 ( 営業担当 )	販売量の動き	・今月は全館売上高の前年比が3か月前よりも3%程度落ち込んでいる。部門別の動向に好不調の波があることや、全国高校野球大会での県代表校の快進撃による試合日の来客数激減などの影響が大きく、景況感の判断が難しい月である。中元ギフトの動向は売上高で前年比100%の着地である。
		スーパー ( 販売企画担当 )	単価の動き	・今回の旧盆商戦での中元ギフト売上の前年比は94%である。客単価、1点単価ともにマイナスとなり、贈答品でも低価格志向となっている。
		コンビニ ( 経営者 )	お客様の様子	・客は、安い商品に目が行っており、安い商品を求めることが多い。また、前年と比較して売上も落ちている。
		コンビニ ( 経営者 )	来客数の動き	・インターハイ関係の客はいるものの、それを除けば観光客は以前ほど来店していない。
コンビニ ( エリア担当 )		単価の動き	・客単価はほぼ前年並みであり、来客数の増減が売上を左右している。客の購買意欲が固定された証拠であり、この傾向は今後も続く。	
観光名所 ( 職員 )		来客数の動き	・施設利用者が前年並みである。3か月前の5月も大体前年同月並みであることから、沖縄観光は利用者に関しては下げ止まりの状況にある。売上は、前年比で少々減少し、厳しい状況である。来園者は家族連れが中心である。	
ゴルフ場 ( 経営者 )		来客数の動き	・増加する傾向は全く見えない。	
やや悪く なっている	衣料品専門店 ( 経営者 )	来客数の動き	・最近、本島中部に新しいショッピングモールがオープンした。その影響が、那覇市の通りに構えている本店では特に県内の来客数が大きく減った感がある。本店周辺一帯はしばらくの間、県内の客が流れてこない恐れもある。しかし、県外からの客は今までどおりだと期待できる。	
	その他飲食 [ 居酒屋 ] ( 経営者 )	来客数の動き	・8月は12月に次いで来客数が取れる時期であるが、例年の90%台で推移している。市役所の移転やショッピング、飲食のトレンド地域の移行等により地域が空洞化しているのと、例年ほど観光客の予約が取れていない。	
悪く なっている	衣料品専門店 ( 経営者 )	来客数の動き	・買上客数が、今月を含めてここ数か月減少している。客の買い控えがあると推測される。ただし、1点単価、客単価共に前年と変わらない。	
	その他専門店 [ 楽器 ] ( 経営者 )	販売量の動き	・インターハイが開催されているので、来客数は増えているが、土産や購買にはいまいち結び付かない。同業者の増加や売上の低迷で、輸入品など外国製品などの価格競争が一部出ている。これからも売上の減少と価格競争で厳しい状況が続く。	
企業 動向	良く なっている	-	-	-

関連	やや良くなっている	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注案件等の話が増えている。
	変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・民間工事は、貸家や個人住宅工事が減少している。公共工事は学校関係の改築工事等が継続しており、やや増加している。
		輸送業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・主に扱っている食材・建築・家電・家具の取扱量に大きな変動は無い。
		輸送業（代表者）	受注量や販売量の動き	・特に宮古地区は季節的な落ち込みも例年に比べ少なく、先々の物件の話もあり活況が感じられる。良い状況が続いている。
		会計事務所（所長）	取引先の様子	・サービス業は全体的にインターハイの特需があり、観光業を中心ににぎわっている感はある。
やや悪くなっている				
悪くなっている	-	-	-	
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・既存のコーザーからの追加依頼が複数あり、新規でもコールセンター、医療関係を中心に受注がある。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	求人数の動き	・今までは求人企業との金額面での交渉が多かったが、金額よりも内容重視になってきている。少しコストが高くて良い人材を採用したいという考え方に変わってきている。
	変わらない			
	やや悪くなっている	-	-	-
悪くなっている	-	-	-	